

# 多摩動物公園アフリカ園キリン舎等展示施設の整備について

## 1. はじめに

東部公園緑地事務所では、都立動物園と水族園の計4施設の整備を担っている。中でも、大規模な整備を進めている多摩動物公園において、昨年度末に完成した「アフリカ園キリン舎等展示施設」の整備について報告する。

日野市にある多摩動物公園は、多摩丘陵の中心に位置し、国内屈指の広大な敷地を有している。自然豊かな景観の下、動物の生態を活かしたダイナミックな展示をはじめ、希少動物の繁殖にも積極的に取り組んでいる。特に大型動物であるキリンの繁殖数は国内最大を誇り、子どもを含め17頭（令和4年8月現在）が飼育され、国内外の繁殖の推進に寄与している。

## 2. アフリカ園の整備

アフリカ園の動物舎等施設は、約60年前の昭和30年代後半に整備されており、耐震上や老朽化の課題を抱えていた。これらの課題を解決し、動物がのびのびと暮らす安心安全な施設の整備に向け、平成29年から大規模なリニューアル工事に着手した。

平成30年には無料休憩所（サバンナキッチン）、令和2年にはライオンバス乗り場・飼育場が完成し、その後、ライオンバス乗り場の西側に位置する「キリン舎等展示施設」の工事に令和2年9月に着手し、一年半後の令和4年3月に完成を迎えた。

（図-1）



図-1 アフリカ園の施設

## 3. キリン舎等展示施設の整備について

本施設における整備には、動物園が掲げる飼育方針を取り入れ、積極的に取り組んでいる希少動物の保護と繁殖に向け、キリンの出産に十分に対応できる冷暖房を完備した産室や、他園との繁殖の際に必要な搬入出用の隔離室等を整備した。また、動物本来の魅力を最大限に引き出す展示として、キリンが暮らすアフリカのサバンナに類似した火山礫を敷き詰め、大径木の活用による日陰や隠れ場を確保し、起伏を生かした丘により広がりや奥行きを創出した。さらに、来園者が動物の魅力を存分に楽しめる仕組みとして、キリンの採食の様子を近くでじっくりと観察できるよう、大型ガラスを採用したキリンと同じ高さの観察ポイントを設けた。

## 4. 整備における課題と対応

大型で背が高いキリンは園内の移動さえも困難であったため、新しいキリン舎は既存のキリン飼育場に隣接する斜面地を造成し整備することとなった。施工条件としては、丘陵地であるため起伏が多く工事作業に使用できる平坦地は限られていた。

作業に先立ち実施した地質調査により硬質地盤が確認され、山留工事は当初想定していた圧入工法による施工は困難と判断し、新たに硬質地盤クリア工法（クラッシュパイラー）を採用した。この工法は低振動・低騒音なため、隣接地で飼育するキリンを含む他の動物への影響も少なく、狭小な施工場所において大変効果的であった。（写真－１）

また、地盤掘削時には斜面に囲まれた地形に起因する湧水に悩まされた。隣接地で飼育するキリンにとっては蹄が濡れることで関節炎等の病気を発症する恐れがあり、工事中は湧水の流れの変化に細心の注意を払い、揚水ポンプによる排水を続けながら作業を進めた。

さらに、キリンは状況により人間に危害を及ぼす恐れのある動物であるが、好奇心が旺盛で作業員に興味を持ったのか近づいてくるなど、可愛らしくも気を引き締める場面に出くわす事もあった。

動物舎の整備は、動物の愛護及び管理に関する法律や都条例の規定に準ずるが、基本的には実績と経験に基づき、創意工夫を重ねており、新しいキリン舎でもキリンの体高に合わせた高さ5m近い特殊建具等を設置している。これらの建具は製作に時間を要するため工程管理に苦慮した上、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、搬入時期が確定できない状況に陥ったが、度重なる作業工程の見直しにより、来園者の多い春の繁忙期までの完成に何とか間に合わせることが出来た。（写真－２）。

新型コロナウイルス感染症については、現場の作業員だけでなく、動物園の運営を担う動物飼育の現場で働く職員への感染が懸念された。飼育職員は将来の施設管理者として、工事に実施した施設の内覧会等で現場へ足を踏み入れる機会も多く、工事現場での感染対策には細心の注意を払った。この様に、ウィズコロナ時代の工事の在り方についても実感しながらの工事であった。

## 5. おわりに

新しいキリン舎へのキリンの引越しは、数カ月に渡り徐々に馴らしながら進められ、この夏の終わりには飼育や繁殖に向けた新たな取組が開始される。（写真－３）

今後もアフリカ園では、様々な種類の動物達と一緒に飼育する広い敷地を活かした「複合飼育」に向けた再整備も予定している。ぜひ、リニューアル工事が進む多摩動物公園へ足を運んでいただきたい。



写真－１ 山留工事の状況



写真－２ キリン舎内の特殊建具



写真－３ 完成したキリン舎